

- 問1 景気の過熱や物価の上昇を抑えるために日本銀行が行う「公開市場操作」において、保有する国債などを一般の金融機関に売却し、市場に流通する通貨量を減少させる操作を何といいますか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
1. 預金準備率操作
 2. 売りオペレーション
 3. 公定歩合操作
 4. 買いオペレーション
- 問2 日本銀行が「買いオペレーション」を実施した際に生じる、経済への影響についての説明として、背景や因果関係が正しいものはどれですか。 (2026年 鳥取県公立入試 類似)
1. 通貨の流通量が制限され、金利が低下することで、円の価値が急激に高まり輸出産業が活性化する。
 2. 市場の資金供給量が減少し、金利が上昇することで、物価の上昇を抑えてイン플레이ションを防ぐ。
 3. 市場の資金供給量が増加し、金利が低下することで、企業の設備投資や個人の住宅購入が促される。
 4. 民間銀行の資金が不足し、金利が上昇することで、家計が貯蓄を増やし消費が抑制される。
- 問3 政府と日本銀行は協力して景気の調整を行っています。日本銀行が景気後退期に行う金融政策として、正しい内容はどれですか。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)
1. 日本銀行が直接、すべての民間企業に対して製品の価格を下げるよう命令を出す。
 2. 公共事業への支出を増やし、失業者を雇い入れることで国民の所得を直接的に増やす。
 3. 所得が高い人ほど高い税率を課す累進課税制度を強化し、社会の富の格差を是正する。
 4. 市場から国債を買い入れ、世の中の通貨量を増やすことで金利を下げ、企業が資金を借りやすくする。
- 問4 日本銀行が行う公開市場操作のうち、不景気の時に行われる、日本銀行が民間銀行から国債などを買い取ることで通貨量を増やし、利下げを促す政策の名称として正しいものはどれですか。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
1. 売りオペレーション
 2. 円高誘導
 3. 預金準備率操作
 4. 買いオペレーション
- 問5 不景気の際、日本銀行は景気を刺激するために市場を流通する通貨の量を調整する「公開市場操作」を行います。このとき、日本銀行が一般の金融機関を相手に行う操作として正しいものはどれですか。 (2024年 京都府公立入試 類似)
1. 日本銀行が持っている国債を一般の金融機関に売り、市場の通貨量を減らす。
 2. 一般の金融機関が持っている国債を買い取り、市場の通貨量を増やす。
 3. 一般の金融機関が持っている国債を買い取り、市場の通貨量を減らす。
 4. 日本銀行が持っている国債を一般の金融機関に売り、市場の通貨量を増やす。
- 問6 日本の金融の仕組みを説明したレポートにおいて、家計や企業が金融機関に預けた預金を、金融機関が自身の判断と責任で資金を必要とする企業などへ貸し出しを行う形態を何と呼びますか。最も適切な用語を選びなさい。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. 間接金融
 2. 自己資金調達
 3. 直接金融
 4. 株式投資
- 問7 日本銀行が「買いオペレーション」を実施した際、市場におけるお金の流れや経済への影響はどのように変化すると考えられますか。最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 高知県公立入試 類似)
1. 日本銀行が政府から直接国債を買い取ることで、公共事業の予算が増え、雇用が直接的に創出される。
 2. 日本銀行が市中銀行から国債を買い取ることで、銀行の資金に余裕ができ、企業への貸し出しが増えて景気が刺激される。
 3. 日本銀行が市中銀行へ国債を売り出すことで、市場の通貨量が減少し、物価の上昇を抑える効果が生まれる。
 4. 日本銀行が市中銀行から国債を買い取ることで、市場の通貨量が減少するため、通貨の価値が上がり円高が進む。
- 問8 不況（不景気）の際、日本銀行が景気を回復させるために行う金融政策として、適切な説明はどれですか。 (2018年 大分県公立入試 類似)
1. 日本銀行が一般の銀行へ国債を売り、市場の通貨量を減少させる。
 2. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い、市場の通貨量を増加させる。
 3. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い、市場の通貨量を減少させる。
 4. 日本銀行が一般の銀行へ国債を売り、市場の通貨量を増加させる。
- 問9 日本銀行が「買いオペレーション」を行い、その結果として市場の金利（利子）が低下した際、企業の経済活動にどのような影響を与えると期待されていますか。 (2021年 福岡県公立入試 類似)
1. 銀行への預金から得られる利息が増えるため、企業は事業投資を控えて貯蓄を増やすようになる。
 2. 通貨の価値が急激に上がるため、輸入原材料の価格が安くなり、製品の価格競争力が低下する。
 3. 資金の調達が困難になるため、企業は従業員の給与を削減してコストを抑えようとする。
 4. 借入金の利息負担が軽くなるため、工場建設や設備投資などの生産活動が活発になる。
- 問10 物価が上がり続け、景気が過熱すぎていると判断される場合、日本銀行が行う「売りオペレーション」による影響として正しいものはどれですか。 (2020年 愛媛県公立入試 類似)
1. 日本銀行が銀行から国債を買うことで、銀行の資金が増え、金利が下がることで個人の消費が拡大する。
 2. 日本銀行が円を売って外国通貨を買うことで、円安を誘導し、日本の輸出企業の利益を増やす。
 3. 日本銀行が銀行に国債を売ることで、銀行の資金が減り、金利が上がることで企業の借り入れが抑制される。
 4. 日本銀行が紙幣を大量に発行して政府に供給することで、政府の借金を肩代わりし、財政の健全化を図る。
- 問11 家計から銀行などの金融機関へ預金が行われ、その資金を金融機関が企業に貸し出す「間接金融」に対し、家計が証券市場を通じて企業に直接資金を供給する「直接金融」の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
1. 金融機関が仲介役となり、預金者の代わりに貸付先の審査やリスク管理を行う。
 2. 日本銀行が通貨供給量を調整することで、市場全体の金利に影響を与える。
 3. 企業が株式などを発行し、金融機関を介さずに投資家から資金を直接募る。
 4. 政府が公共事業を行うために、国債を発行して家計から広く資金を集める。
- 問12 景気が過熱して物価が上がり続けるイン플레이ションの状態にあるとき、中央銀行である日本銀行が行う政策について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
1. 日本銀行が民間銀行から国債を買い取り、市場の通貨量を増やすことで、利子（金利）を低下させる。
 2. 日本銀行が民間銀行から国債を買い取り、市場の通貨量を減らすことで、利子（金利）を上昇させる。
 3. 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売り、市場の通貨量を増やすことで、利子（金利）を低下させる。
 4. 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売り、市場の通貨量を減らすことで、利子（金利）を上昇させる。
- 問13 資金の貸し借りが行われる金融市場において、元金に対する利子の割合を示す言葉として正しいものはどれですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
1. 金利
 2. 自己資本比率
 3. 物価上昇率
 4. 為替相場